



新学期が始まり 2 カ月が過ぎようとしています。めまぐるしい気温の変化にも負けずに、子どもたちは毎日元気に登園しています。園生活にも少しずつ慣れて、友達と手をつないで園に通って来たり、お家の人と一緒に挨拶をしたりする姿も増えてきました。何よりお家の方が笑顔で子どもたちを送迎されている姿を見て素晴らしいなと感じています。



～子どもたちの自ら選んでする遊びを紹介します～

身近な自然に親しみ、自然と触れあう中で様々な事象に興味や関心を持ちます。



【①の場面】

A ちゃんは、プランターを動かして生き物探しをしていました。そうすると「あ～ダンゴムシ見つけた！」とうれしそうな声が聴こえてきました。次に A ちゃんは「B ちゃん！B ちゃん！ダンゴムシがいたよ。」と言いました。

とってもうれしそうな声と表情でした。でも、B ちゃんは、少し離れたところにいたので聴こえませんでした。残念！

近くにいた私は、迷いました。B ちゃんに声を掛けようかと思いましたが、少し待ってみることにしました。できれば A ちゃんの喜びは、本人から B ちゃんに伝わったほうがよいかなと考えたからです。

A ちゃんは、何度か B ちゃんを呼びました。すると、やっと B ちゃんは気がつきました。

【②の場面】

B ちゃんは、A ちゃんの所に向けより、「わあ、ほんとだ！ダンゴムシがいたね。」とつぶやきました。A ちゃんのダンゴムシを発見した喜びは、B ちゃんに伝わり、二人がその喜びを共有した瞬間です。

【③の場面】

A ちゃんと B ちゃんの喜びあっている雰囲気が近くの友達にも伝わり、また仲間が増えました。さらに喜びが増して、遊びが広がっていきました。

～ダンゴムシ探しをしている事例から読み取れること～

園生活に慣れて、気のあう友達もできました。自分の力で遊びを見つけて、友達に喜びを伝えられるようになってきています。教師は、その姿を捉えてさらに友達同士のかかわりを深めていきたいというねらいをもって、かかわりました。

子ども同士で遊びが発展し、仲間がいるから喜びを分かち合えます。また、自然の不思議さに心を動かされている瞬間でもあります。

子どもの遊びや活動は、全て学びとなります。この学びの基礎を積み重ねることがとても大切です。この経験を積んでいくためには、日々の遊びや活動を繰り返すことが大事です。健康で過ごし毎日の登園を継続していきましょう。

そして、身近にいる教師や大人は、このような成長の一場面を見落とさないようにしたいものですね。

☆PTA 事業部さんの工夫から☆昨年は地域の方からも寄付がありました。

手作りベルマーク入れ



昨年の省察から、今年はベルマークを集める際に工夫しようというアイデアから生まれたボックスです。保護者の皆さん素晴らしいですね！

親子で入れられます♡



何番かなあ。ここだ！



あいせんせいの「ほっこりタイム」より♡



ほっこりタイムの一場面より～Q&A～

Q：好きな物しか食べない、小食で痩せてきて心配。

A：暑くなったり、疲れたりすると食べにくくなります。今は、子どもの食べられる食材を用意してもらい、食べられる時にお家の人と一緒に食事をしましょう。やわらかめで小さいサイズに切ってもらえば食べやすいです。何よりお家の人美味しそうに食べるという姿を見せてあげてください。

園で運動して体力がつき、体が成長しだすと食事量も増えていくので心配はいりません。できるだけ朝ごはんを食べる習慣をつけてくださいね。

Q：この頃、わがままばかり言うようになってきて困っている。

A：成長と共にいろいろなことが認識できるようになります。自己主張の表れとして捉えてみてはどうでしょう。その主張にうなずき、時にはつきあいながらかかわってみてください。何が1番伝えたいかな、という点が大切なのではないでしょうか。

幼児は、伝え方が未熟なので、身近な大人が後押し。簡単な選択肢を出して提案して確認してみるのも素敵ですね！意思疎通が楽しくなるかもしれません。

お家の方、本当に頑張っておられます。応援していますよ！私もほっこりできました♡